

2018 年度 さいたま市大宮東部少年軟式野球連盟  
・後期リーグ戦開会式に出席して参りました。



酷暑続きだった 2018 年夏。今日は 8 月 25 日（土）、例年だと秋の気配を感じる頃ですが、今年は未だ気象庁が注意喚起するほどの酷暑が続いています。さて私達、大宮東ロータリークラブは、更なる熱気を感じる為、黒須英男会長以下多くのロータリー会員が、朝早くから地元少年軟式野球（7 チーム参加）の後期リーグ戦開会式に出席して参りました。開会式は、選手達の元気な掛け声による入場行進に始まり、関係者によるご挨拶、前期優勝・準優勝チームからの優勝旗とカップの返還、また甲子園高校野球を思わせるような、すばらしい選手宣誓で後期リーグ戦の熱戦の火蓋が切って落とされました。また開会式では、恒例となりました大宮東ロータリークラブから各少年野球チームに試合球を贈呈し、一方、野球チームからロータリークラブには、軽トラック 1 台分の「ペットボトルキャップ」の贈呈がありました。これは両者の何気ない気持ち・行動の表れの一コマですが、**ロータリークラブは青少年の育成に、子供達ならびにご家族は「ポリオ撲滅」、「環境保護」に素晴らしい貢献をされたと思います。**世界中のロータリークラブは、永い間、「ポリオ撲滅」を奉仕活動の中心に据え、生まれた子供が「ポリオ」という病気にかからないように、また、すでに「ポリオ」の病気にかかった人達には治療支援と生活支援に取り組んでまいりました。「ペットボトルキャップ」一つ一つはとても小さなものですが、皆様のご協力により大きな、大きな成果を挙げています。引き続き、皆様のご協力・ご支援、宜しくお願い申し上げます。

それでは、選手の皆さん、後期リーグ戦、頑張ってください。

2018 年 8 月 25 日

(一ロメモ)

- ◆「ポリオ」は人から人へ感染し、乳幼児がかかることが多い病気です。  
このことから日本では、昔、「小児麻痺」と言われていました。
- ◆感染すると、主に手や足が麻痺し、麻痺が一生残ってしまう、また一生寝たきりになることもあります。
- ◆日本でも 1960 年には、ポリオ患者の数が 5,000 人を超えていましたが、予防接種により 1980 年以降、新たな患者は出ていません。但し、予防接種を受けず、免疫を持たない人が国外から持ち込まれた「ポリオウイルス」により感染し、流行する恐れがあります。
- ◆貧しい国や紛争国では「ポリオワクチン」を買えず、また宗教や信仰の関係で接種できずに病気にかかる人がいます。  
ロータリークラブは、「ポリオワクチン」の配布、また宗教や信仰を超えた活動を通じて、「ポリオ撲滅」に取り組んでいます。